



## この秋、ワシントン条約の会議が開かれます。

今年2004年10月2～14日に、第13回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。それに先立ち、トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて約10回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することにいたしました。会議に関する正確な情報の入手や取材の参考としてお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

### 今回の提案

ワシントン条約締約国会議で討議される附属書改正提案には、規制をゆるめる提案と規制を強めるための提案、またそのほか注釈や条件などの変更を求めた提案がある。

- 規制をゆるめる提案
  - 規制を強める提案
- |         |    |             |     |
|---------|----|-------------|-----|
| 附属書から削除 | 2案 | 附属書II→I     | 6案  |
| 附属書I→II | 7案 | 新たに附属書IIに掲載 | 21案 |
- その他、注釈の修正や条件の変更など 14案

附属書IIからIに移行する提案のひとつが、クモノスガメ *Pyxis arachnoides* である。(提案国：マダガスカル)

### クモノスガメ提案をトラフィックはこう考える

#### クモノスガメの現状

- ・クモノスガメはマダガスカル固有のリクガメ。
- ・このリクガメの国際取引は、1999年以降ペット/マニア市場の需要に応じて激増した。
- ・最大の脅威は生息地の減少であるが、違法取引も不安材料のひとつ。
- ・1975年よりワシントン条約の附属書IIに掲載(リクガメ科全種が、附属書IIあるいはI)。
- ・マダガスカルでは2000年から輸出割当量を設定している(2000年は1000頭、2001年は0頭)。しかしそれを上回る輸出量が記録されている。
- ・主な輸入国は日本、米国、南アフリカ。

#### 日本のクモノスガメの輸入数

1998年 150頭  
1999年 なし  
2000年 914頭 (P. spp.\*320頭)

資料：経済産業省、年次報告書  
\*クモノスガメ属ではあるが、その属の2種のうち、どちらかかはわからないもの。



#### トラフィックはこの提案には反対している、なぜか？

まず、この種は附属書I掲載の基準(決議9.24)を満たさず、附属書IIであると思われる。問題は、違法取引や、輸出割当量の妥当性にあり、これらへの対策が必要である。マダガスカル政府が設定した輸出割当が持続的であるために必要な十分な管理体制が確立するまでは、輸出割当ゼロを維持し、それを履行するよう強く促すべきであるとトラフィックは考えている。

### 世界のリクガメ輸入量の50%以上を日本が輸入

●日本は、世界のリクガメ輸入量の50%以上を輸入しており、リクガメのペットとしての需要が非常に高い。1996年に約3万頭のリクガメを輸入したが、これは世界の輸入量の54.5%にあたる。

●トラフィックががおこなった2002年のペットショップでの市場調査によれば、世界に生息する約300種(289種)のカメのうちの3分の2にあたる約200種(199種)の淡水ガメおよびリクガメが販売されていた。ちなみに、もっとも多く販売されていたのは、インドホシガメで調査対象店の94%で販売されていた。そして、もっとも高価だったのも、インドホシガメで、250万円。

●輸入量の増加からも需要の高さが伺える。日本のリクガメの輸入量を1989年と1998年とで比較すると、10年で16倍に増加している。

世界のカメ289種のうち63%は絶滅のおそれがあるとされている。このような日本の高い需要(消費)が、ある種のカメの存続をおびやかす一因となりかねない。

### 不法に取引され続けるリクガメ

リクガメが不法に取引される事例は後をたたない。生息地でも日本人によるリクガメなどの密猟・密輸が報告されている。クモノスガメの国内の事例をあげてみる。

- ・埼玉の動物園からミナミクモノスガメ2頭盗難。(2003年6月)
- ・名古屋空港でクモノスガメ10頭を含む爬虫類とサル全64頭の密輸。(2003年11月)
- ・名古屋空港：タイツなどの中に隠したクモノスガメ13頭を含むリクガメ30頭が発見。(2003年9月)
- ・成田空港：クモノスガメ1頭を含む爬虫類27頭を密輸(2001年12月)
- ・成田空港：クモノスガメ4頭とフクロウなどの猛禽類が税関で差し止められた。(2001年12月)

トラフィックジャパンの  
ここに注目 ②

日本は、ウミガメ以外の世界に生息する約300種の、カメ目のうち3分の2にあたる約200種を販売